平成 18 年 9 月 15 日発行

Fellowship for the Advancement of Radiology

情報誌 F A R 16 号

事務局：（社）日本放射線技術学会事務局内
〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東錺屋町 167　ビューフォート五条烏丸 3F
TEL:075-354-8989.　FAX:075-352-2556／http://www.jsrt.or.jp.　Email:office@jsrt.or.jp

《ごあいさつ》

ＦＡＲ会発足５年を振り返って

副会長　山田勝彦

FAR 会が発足して今年で満５年になることは、前号でも橋本会長がお書きなっていますが、改めてこの５年をここに回顧し、次の５年への糧としてみたいと思います。

FAR 会の２大事業の一つであります「情報誌発行」は、年３回の発行ですでに 15 号を数えましたが、この間、小川敬寿委員長を中心に編集委員会の方々の献身的なご努力で、素晴らしい情報誌へと発展してきました。

とくに 11 号からは完全なカラー印刷に変わり、その印象は一変しました。多くの写真を掲載されようとする編集方針の元で、カラー印刷で見る皆さんのお顔は実にリアルであり、いつまでも若々しい方、少しお年をとられたかと感じる方、この情報誌が届いたとき、ほんとうに FAR 会の皆さんのお顔が見える実に楽しい瞬間です。しかも届いた情報誌が一気に読み切れるという、内容と頁数に編集されていることがまた素敵です。

そして前 15 号の発行より小川編集委員長から、山田和美委員長へと交代されましたが、新委員長のご努力によりこの情報誌がますます充実することを、大いに期待するものであります。

一方の大事業であります春秋２回の「楽しい会」は、学会開催地の関連から今年度より春は食事会のみ、秋は宿泊の観光旅行となりました。宿泊旅行は第１回の神戸に始まり、出雲―鎌倉―秋田―湯河原―京都―鴨川―鹿児島と続き、実に楽しい思い出がよみがえります。

初めの頃は若干の気遣いもありましたが、回を重ねる毎に敷居が低くなり、まさにお互いは永年の知己のごとき仲となり、久住先生などはまさに宴会での有名人となられました。

ここで忘れてはならない方は、FAR 会企画担当役員の四宮恵次先生です。とにかく、FAR 会発足からこのような宿泊旅行の企画と、現地世話人の方々との打ち合わせなど、すべての企画立案と交渉までを献身的に努力して頂いているお陰で、このような「楽しい会」が実行できていることです。

まさに感謝の念で一杯です。今年は「2006　北への集い」を計画され、柴田崇行、萩原康司、菊池務、木村千明と各４人の先生方のお世話で、紅葉美しい北海道で開催されます。

定山渓温泉で多くの皆様と杯の酌み交わせることを楽しみにしています。

内　　容

1. ごあいさつ　副会長　山田勝彦
2. FAR 会の楽しい催し「2006 北への集い」
3. 「2006 北への集い」歓迎のご挨拶　坂田元道
4. 特集「心の宝物」（五十音順）
　1) サークルで出会った大切な方々　草山泰子
　2) 転ばぬ先の杖　志村元久
　3) 人生で得たもの　松本　進
　4) セピア色の家族写真　山本英明
5. 会員の広場
　1) 写真　清水久子
　2) 寄稿　山　哲男
6. JSRT 情報
7. 会員情報
8. 会からのお知らせ
9. 第 17 号特集　原稿募集
10. 連載《四国八十八ヶ所霊場巡り⑦》　遠山坦彦
　「東予路の最後は迷い路　52～59 番」
11. 編集後記